

政策評価シート(令和4年度実績評価)

◎政策の基本情報

政策No	0305	政策名	芸術文化の振興	政策主管課	文化財課	課長名	鈴木直明
政策の目指す姿		地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます					
政策の方針							
市内の芸術文化を振興させるためには、市民が地域の歴史や文化、先人の理解を通じ、芸術文化に親しむことのできる環境づくりが必要です。そのために、身近な場所で芸術文化に触れることができる機会を拡充するとともに、先人を顕彰し、その功績が理解されるように取り組みます。また、文化財の適切な保護や活用を図るとともに、地域に伝わる民俗芸能の伝承を支援します。							

1 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
この1年間に芸術文化活動を行った市民の割合	芸術文化に親しみ、深い知性を持ち心豊かな市民となるため、具体的行動として芸術文化活動を行っている市民の状況を示す指標	出展：花巻市（市民アンケート） 問：あなたは、芸術文化の活動をどの程度行っていますか。 (1) 週に2回以上 (2) 週に1回程度 (3) 月に1回程度 (4) 年に数回程度 (5) ほとんど行っていないのうち、(5)以外を選択した市民の割合	%	目標値	30.00	30.00	30.00	35.00	40.00	
				実績値	21.80	14.40	15.10	14.70		
郷土の歴史・文化に対する誇りや愛着を持つ市民の割合	地域の歴史や文化、先人など、地域・郷土に対する市民の誇りと愛着度を示す指標	出展：花巻市（市民アンケート） 問：あなたは、郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持っていますか。 (1) 持っている (2) どちらかというを持っている (3) どちらかというを持っていない (4) 持っていない (5) どちらともいえないのうち (1) (2) を選択した市民の割合	%	目標値	67.00	67.00	67.00	68.00	70.00	
				実績値	69.20	55.60	55.10	56.10		
				目標値						
				実績値						

2 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	各項目とも微増・微減を繰り返しているが、令和2年度より実績値が下降しており、コロナ禍の影響により文化活動全般が停滞していると思われる。郷土の歴史や文化に誇りを持っている市民の割合は、10代が63.2%と高くなっているが、学校等で郷土の歴史や先人を学ぶ機会が多いことが要因と考える。年齢が上がると割合が低くなっているため、学校等で学び育んだ誇りや愛着を継続して定着させることが課題である。

3 政策の総合的な評価

評価区分	政策の課題と要因
D④	芸術文化活動や芸術観賞など情報発信が不十分で成果指標の低下につながっていると考えられるため、気軽に施設へ足を運んでもらうための取り組みやSNS等を活用して積極的に事業をPRすることが必要である。また、郷土の歴史や文化に誇りを持っている市民は、徐々に増えているが、文化財関連施設を訪れる市民の割合は低調のまま推移している。文化財関連施設において話題性のある特別展・企画展を企画・開催するほか、調査研究の掘り起こしや魅力のある内容の講座メニューを企画するなど、市民に興味を持っていただく取り組みが必要である。

4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
1	芸術文化活動の推進	市民芸術祭参加者数	人	目標値		3,500.00	3,600.00	3,800.00	4,000.00	
				実績値		847.00	1,690.00	3,406.00		
		市民芸術祭入場者数	人	目標値		10,700.00	10,800.00	10,900.00	11,000.00	
				実績値		3,386.00	5,273.00	8,026.00		
				目標値						
				実績値						
2	先人の顕彰	この1年間に宮沢賢治記念館等の市内の先人顕彰施設を訪れたり、郷土の先人に関するイベントに参加した市民の割合	%	目標値	36.00	33.00	34.00	35.00	36.00	
				実績値	31.40	18.40	18.80	20.20		
		日常生活の中で宮沢賢治の作品や考え方に触れる場があると思う市民の割合	%	目標値	68.00	61.00	62.00	63.00	65.00	
				実績値	59.90	48.90	45.50	51.30		
				目標値						
				実績値						
3	文化財の保護と活用	この1年間に博物館等の市内の文化財関連施設を訪れたり、文化財に関する講座・セミナー等に参加した市民の割合	%	目標値		22.00	23.00	24.00	25.00	
				実績値		9.60	11.60	9.50		
		文化財に関する講座・セミナー等への参加者数	人	目標値		4,400.00	4,400.00	4,500.00	4,500.00	
				実績値		2,771.00	4,217.00	3,481.00		
				目標値						
				実績値						

4 政策に対する各施策の達成度

No	施策名	成果指標名	単位	数値 区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06	
4	民俗芸能の伝承	郷土芸能団体数	団体	目標値	96.00	96.00	96.00	96.00	96.00		
				実績値	96.00	96.00	96.00	96.00			
				目標値							
				実績値							
				目標値							
				実績値							

5 政策を構成する施策一覧

1	施策名	芸術文化活動の推進			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		A	D	D	D
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 優れた芸術文化活動に触れる機会の情報提供を拡大する必要がある。 文化会館は建築から48年経過しており、躯体設備全体が老朽化しているため、大規模な改修工事が必要である。 萬鉄五郎記念美術館の施設の長寿命化を図るため、順次設備の更新をする必要がある。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館の公演の魅力や芸術文化の素晴らしさをしっかりと伝えるプロモーションを行い、多くの市民に鑑賞の機会を提供する。また、市民の芸術に対する関心を高めるため、アートセミナーや萬鉄五郎等岩手の美術家などを紹介する展覧会などを企画・実施する。 文化会館の機能維持・改修・整備計画を作成し、計画に基づき設備の改修・更新等を検討する。 萬鉄五郎記念美術館の空調設備改修工事を実施するほか、外壁等の設備改修を検討する。 			

2	施策名	先人の顕彰			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		D	D	D	D
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 先人の偉業を多くの方に紹介するために、各館より一層のPRや企画展等の充実が必要である。 賢治を学ぶ場づくりやイベントを継続して開催するとともに、一層の情報発信が必要である。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 先人の偉業を多くの方に紹介するために、各館より一層のPRや魅力ある事業を企画・開催するほか、多くの偉人を紹介できるように共同展の内容を工夫する。 新型コロナウイルス感染症が拡大する以前の水準で賢治を学ぶ場づくりやイベントを開催し、賢治に触れる機会を提供するとともに、積極的に賢治情報の発信を行う。 			

3	施策名	文化財の保護と活用			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		D	D	C	D
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民が文化財に関心を持ち、制度や保護の方策等について知ってもらう必要がある。 年数回開催する企画展については、郷土の考古、歴史、美術・工芸等の中から、市民の興味を引く魅力ある内容とする必要がある。 各種講座や体験学習は、時流に合った内容を取り入れるなど、市民の関心を促して参加者の増加を図る必要がある。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 総合文化財センターは、埋蔵文化財の収蔵・管理のほか、文化財の情報発信施設として企画展や体験学習を引き続き実施していく。 企画展の内容を検討する際には、郷土の考古、歴史、美術・工芸等に対する市民の関心を高められる選択を行い、知的好奇心に応える魅力ある展覧会を開催する。 各種講座や体験学習は、時流に合った内容を取り入れて市民の関心を促すほか、参加者へのアンケート調査なども参考に、適宜内容を見直しして参加者の増加を図る。 			

5 政策を構成する施策一覧

4	施策名	民俗芸能の伝承			
	施策の成果指標の達成状況	H31	R02	R03	R04
		A	A	A	A
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体の少子化・高齢化により後継者の確保・育成が各団体の課題である。 ・団体の発表の機会の確保やコロナ禍により停滞した活動（練習や公演など）の復活が課題である。 ・用具や衣装にかかる費用の負担を軽減していく必要がある。 			
	今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市郷土芸能保存協議会員間の共通の課題として、後継者の確保・育成について、情報交換を行っていく。 ・民俗芸能団体の発表の場である郷土芸能鑑賞会などの公演を引き続き開催していくとともにみちのく神楽大会開催へ補助する。 ・団体からの相談に乗りながら、国庫補助制度や花巻市文化財保存事業費補助金制度の周知をしていく。 			